

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	現代の国語	2	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 現代の国語
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	常用漢字や表現技法について正しく理解できている。
② 思考・判断・表現	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重するとともに、進んで表現したり理解したりして、国語力を高めようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業態度など
ノート提出	B	A	B	指示した時期に提出
感想の記入	C	B	A	各単元終了後に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	「水の東西」 「羅生門」 『『生き物』として生きる』 「地域の魅力を紹介する」	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 筆者の提案する人間の生き方について。文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。
2 学期	「無彩の色」 「フェアな競争」 「実用的な手紙文の書き方」	筆者の論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握させる。 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。
3 学期	「夢十夜」 「不均等な時間」 「学校新聞の記事内容を検討する」	非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断としているかを読解させる。 具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 課題に即して必要な情報を収集、活用する力を身に付ける。